3　国債等・国庫短期証券等

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成23年度第２・四半期 発行(借入)	償還	差引き	前年同期 発行(借入)	償還	差引き
国債等	317,494	206,933	110,561	308,135	137,967	170,168
国債(１年超)	314,496	203,934	110,561	305,230	135,062	170,167
借入金	2,998	2,998	△ 0	2,905	2,905	0
国庫短期証券等	991,344	966,320	25,024	981,273	971,293	9,980
国庫短期証券	876,519	856,995	19,524	881,948	876,968	4,980
一時借入金	114,825	109,325	5,500	99,325	94,325	5,000

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、11兆561億円の受取超過であって、前年同期（17兆168億円の受取超過）に比べ、５兆9,607億円受取超過額が減少した。国債（１年超）の収支は、発行31兆4,496億円、償還20兆3,934億円、差引き11兆561億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入2,998億円、償還2,998億円、差引き０億円の支払超過であった。

国庫短期証券等の収支は、２兆5,024億円の受取超過であって、前年同期（9,980億円の受取超過）に比べ、１兆5,044億円受取超過額が増加した。国庫短期証券の収支は、発行87兆6,519億円、償還85兆6,995億円、差引き１兆9,524億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入11兆4,825億円、償還10兆9,325億円、差引き5,500億円の受取超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	△ 24,508	△ 73,963	△ 98,470
特別会計等	△ 6,743	104,557	97,814
財政投融資	62,257	18,675	80,932
社会資本整備事業	△ 2,747	3,255	508
外国為替資金	△ 35,583	267	△ 35,316
保険	△ 5,115	732	△ 4,383
その他	△ 25,556	81,629	56,073
小計	△ 31,251	30,594	△ 656
国債等	110,561	△ 13,013	97,548
国債（１年超）	110,561	△ 12,691	97,870
借入金	△ 0	△ 322	△ 322
国庫短期証券等	25,024	△ 17,581	7,443
国庫短期証券	19,524	8,040	27,564
一時借入金	5,500	△ 25,621	△ 20,121
合計	104,334	—	104,334
調整項目	2,701	—	2,701
総計	107,036	—	107,036

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成23年度第２・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	50,506	△ 36,095
特別会計の債券売・買(△)	△ 104,336	△ 70,372
財政投融資	△ 44,770	△ 66,500
国債整理基金	△ 59,566	△ 3,872
その他	△ 51,512	△ 43,857
計	△ 105,342	△ 150,323

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、10兆5,342億円の支払超過であって、前年同期（15兆323億円の支払超過）に比べ、４兆4,981億円支払超過額が減少した。

その内容についてみると次のとおりである。

１　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達９兆4,463億円、資金返済４兆3,957億円、差引き５兆506億円の受取超過であって、前年同期の３兆6,095億円の支払超過から受取超過となった。

２　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買の状況をみると、10兆4,336億円の支払超過であって、前年同期（７兆372億円の支払超過）に比べ、３兆3,964億円支払超過額が増加した。財政投融資は、４兆4,770億円の支払超過であって、前年同期（６兆6,500億円の支払超過）に比べ、２兆1,730億円支払超過額が減少した。国債整理基金は、５兆9,566億円の支払超過であって、前年同期（3,872億円の支払超過）に比べ、５兆5,694億円支払超過額が増加した。

３　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、５兆1,512億円の支払超過であって、前年同期（４兆3,857億円の支払超過）に比べ、7,656億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（10兆7,036億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（2,701億円の受取超過）を除いた収支は、10兆4,334億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、10兆5,342億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（１兆4,283億円）に比べ、1,008億円減少して１兆3,275億円となった。

別表１

財政資金対民間収支実績表

△印は支払超過（単位　億円）

区分	7月 収入	支出	差引き	8月 収入	支出	差引き	9月 収入	支出	差引き	計 収入	前年同期	支出	前年同期	差引き	前年同期	前年同期比
(1) 一般会計	48,566	50,464	△ 1,899	45,524	35,836	9,687	40,993	73,289	△ 32,297	135,082	133,260	159,590	143,250	△ 24,508	△ 9,989	△ 14,518
租税	45,792	13,806	31,986	42,279	5,574	36,705	36,734	4,721	32,013	124,805	122,551	24,101	24,751	100,704	97,800	2,904
税外収入	1,893	—	1,893	1,346	—	1,346	1,516	—	1,516	4,756	5,468	—	—	4,756	5,468	△ 712
社会保障費	—	11,930	△ 11,930	—	11,979	△ 11,979	—	12,646	△ 12,646	—	—	36,555	35,699	△ 36,555	△ 35,699	△ 856